令和６年度　自己評価結果報告書

幼保連携型認定こども園
呼 子 中 央 こ ど も 園

1.本園の教育目標

本園は、園児の健全な成長・発達をはかることを目的としている。行事・遊びを通じた様々な体験、音楽、体育、描画などの情操教育、自然と触れ合う楽しい保育、適切な時期に適切な５領域教育と躾を行うことにより園児の好奇心を導き出し、園児の関心を満たし、保育教諭や友達との関わりの中から、社会性を学び、生きるための知能や感性を獲得していくことが大事と考える。

２.本年度、重点的に取り組む目標・計画

◆定期的な会議と行事前のミーティングを行い職員間の意思の疎通を図る。職員会議や日頃の保育がスムーズにいくよう、園長・主任ミーティングも定期的に行う。
◆一人ひとりに寄り添った保育。一人ひとりに合った声掛けの実施。
◆こども園だからこそ出来ることの１つである“砂場遊び”に力を入れる。

３.学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

◆職員会議は定期的に出来ているが、定期的であるが故の『単なる報告会』で終わらないよう、目的を決め、建設的な意思決定を行う場となるよう努める必要がある。
◆管理職及び中堅職員は、自身の業務に追われ、人材育成に手が回ってないところがあった。
◆10 年前の大人数クラスの保育に固執することなく、少人数だから出来る一人ひとりに寄り添った保育に変えていく。保育もアップデートして、今現在に合ったやり方を実施する。
◆幼児期に経験したい大切な体験ができる砂場遊びは、五感の発達を促し、何よりも想像力が育った。道具の使い方を覚えたり、物の貸し借りでコミュニケーション力を身に付けることが出来た。